



みんなの力でみんなの幸せと

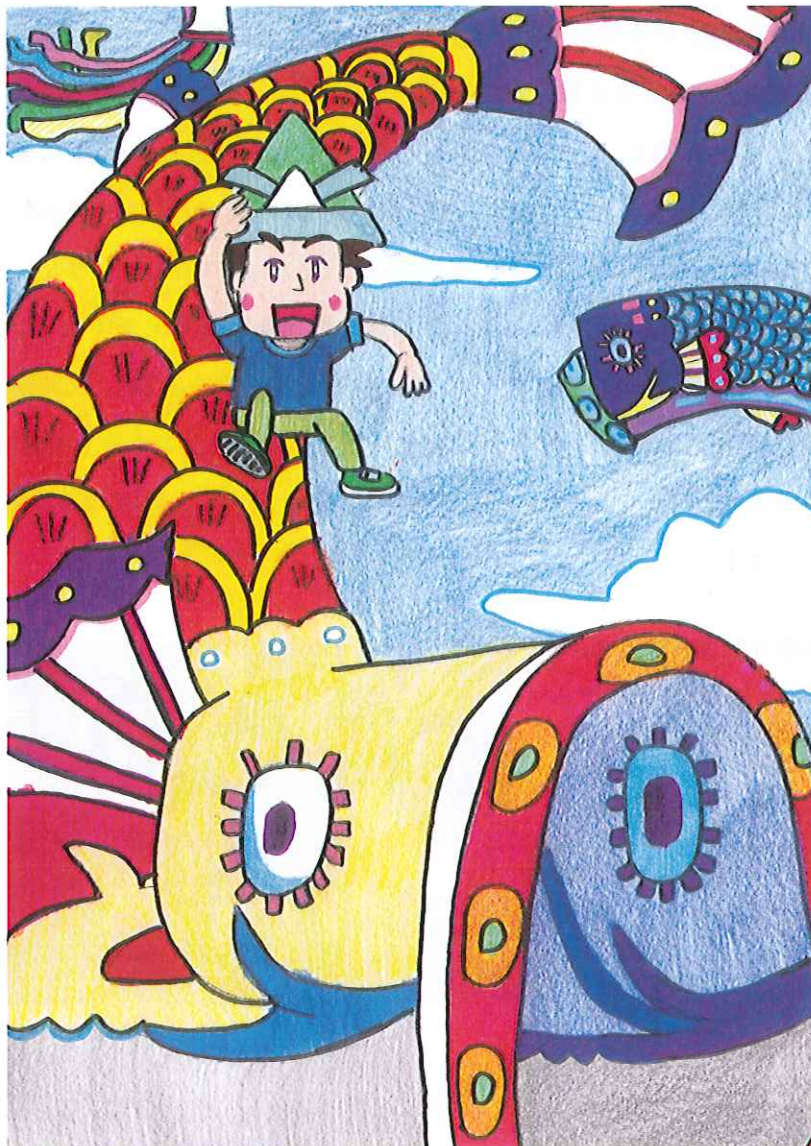
s a w a r a b i

さわらび

6 平成22年度 さわらび会新人職員紹介

8 特集 子ども達の希望ある未来のために

2010
vol.445 **5**



長寿医学研究所 副所長 赤津裕康先生

日本静脈経腸栄養学会 (JSPEN) フェローシップ賞を受賞!

受賞演題名

「経腸栄養成分が高齢者の獲得免疫／インフルエンザ抗体価に及ぼす影響」

第25回日本静脈経腸栄養学会 (JSPEN) フェローシップ賞を福祉村病院長寿医学研究所 副所長 赤津裕康先生が受賞されました。日本静脈経腸栄養学会は、チーム医療体制の確立による治療成績の向上を願い、誠意をもって臨床の実践と臨床的・基礎的研究を継続し、組織としてそれらの検証を繰り返し、長年に渡って、臨床栄養の発展と国民への良質な医療提供のために貢献する学会であり、その中でも名誉あるフェローシップ賞を赤津裕康先生が受賞されたことはさわらび会にとっても大変名誉なことです。

赤津裕康先生におかれてはこの受賞を受けて、米国静脈経腸栄養学会 (ASPEN) や欧州静脈経腸栄養学会 (ESPEN) に筆頭演者として演題を応募し、米国静脈経腸栄養学会や欧州静脈経腸栄養学会に参加、また選択された演題を発表するという名誉ある活動が保証されています。赤津裕康先生のますますのご活躍をさわらび会は応援してまいります。

◎赤津裕康先生の受賞コメント

300を越す口頭演題中でどのくらいの応募があったのかは知りませんが、大変光栄に思います。10名に絞られて候補者セッションの時には久しぶりに緊張いたしました。その中でこうして受賞できたのも、ご協力いただきました病棟・研究所スタッフや東三ラボセンターの方々、患者様・患者ご家族様に心から感謝しております。



◎ドクター紹介

愛知医科大学名誉教授 **橋詰 良夫** 先生

Dr. YOSHIO HASHIZUME



4月から、新しく福祉村病院へ赴任されました、橋詰良夫先生を紹介いたします。

橋詰先生は、神経病理研究所の所長に就任されました。よろしくお願い致します。

- 生年月日 1944年8月25日
- 血液型 B型
- 専門 神経内科学、神経病理学



経 歴

名古屋大学医学部を卒業後、安城更生病院で内科医として勤務後、名大第一内科神経研究室に所属し、神経内科学を専攻しました。その後、自分の担当した患者さんの脳を自分自身で検索したいと思うようになり病理学教室に移籍し、病理解剖を主体とした神経病理学を専攻しました。平成5年から愛知医科大学加齢医科学研究所で神経病理学の研究を続けてきました。平成22年4月から福祉村病院でお世話になっています。

趣 味 ・ 特 技

真鯛をねらう海の船釣りです。若狭湾へしばしば通っています。同好の皆様、誘ってください。

福祉村病院の印象

2005年7月より月に一度行われている病院のCPCで神経病理を担当させていただき、たくさんの貴重な神経疾患の病理所見について勉強することが出来ました。福祉村病院は東海地方を代表する認知症の専門病院であり、臨床に密着した研究が発展させられる機能をもった充実した研究所がある重要な病院と考えています。

仕事への抱負

福祉村病院に入院している患者さんは、戦後の日本の発展を支えてきた人たちであり、現在の平和な日本を作り上げてきた人達です。このような人達の人生を大切にし、尊厳を守り、すこやかな生活が過ごせるように、看護師、介護士さんたちとのチームワークを大事にし、また患者さんの家族と協力して診療に当たりたいと考えます。

またこれまで続けてきた神経病理学の研究も引き続き発展させてゆきたいと考えています。



さわらび荘家族総会

「消費者被害にあわないために」

三月二十二日に平成二十一年度家族会総会を開催し、二十名の方に参加して頂き、総会后、「消費者被害にあわないために」の勉強会を実施いたしました。

消費者被害は年々手口が巧妙となり、被害者が後を絶ちません。自分は大丈夫と思っても、被害にあってしまうこともあります。また、後ろめたさを感じ、相談できないこともあります。そのような時でも、まずは相談することが大切であり、相談機関として、さわらび荘、さわらび地域包括支援センターのほか、公的機関として、東三河県民生活プラザがあることを説明いたしました。

今回の勉強会だけでなく、今後も様々な勉強会を行い、地域の皆様の幸せを実現できるお手伝いをさせて頂きたいと思えます。

(勝山)

グループホーム白珠

「地域との交流と協力」

グループホーム白珠では、地域の発展や幸せに役立つために、地域で暮らす皆様と共に学ぶ機会を作り、介護保険制度や福祉に関する情報提供などの勉強会を定期的に開催しております。

三月十二日は「新聞・広告から学ぶ介護保険制度」をテーマに、さわらび地域包括支援センター・さわらび荘の協力のもと、十一名の地域の皆様に介護保険制度の申請方法などを学んで頂きました。最近の介護に関する新聞記事も提示して、意見を質問を頂きながら、双方向の熱気ある勉強会になりました。

これからも、勉強会だけでなく、地域の皆様と交流、協力をして、地域のためにお手伝いさせて頂きたいと思っております。

(白井有)



健脚度測定

◆軽費老人ホーム 若菜荘

軽費老人ホーム若菜荘では、いつまでも、お元気で暮らして頂く事を目的に、毎年転倒による骨折予防への取り組みの一環として、健脚度測定と重心動揺計の測定を行っております。

今年度の測定結果と前年度の測定結果とを比較したところ、身体能力の低下のみられる方が増加傾向にあるため、入居者の方、一人一人に自身の状態を把握して頂き、転倒予防への取り組みを行っております。

現在、職員見守りの中で“片足立ち”“つぎ足歩行”“転ばない体操”などを行い健脚力を高めるよう努めております。それに加え、入居者の方から要望のあった軽スポーツを取り入れ、楽しく健康維持が出来るように支援を続けてゆきます。

(坂牧)



政権交代による障害者福祉のゆくえ

～上野密さんを迎えての講演会～

3月28日、たまも荘障害者生活支援センターと豊橋市肢体不自由児（者）父母の会共催の講演会をあいトピアで行いました。講演会では社団法人全国肢体不自由児・者父母の会連合会の上野密常務理事・事務局長を講師に「政権交代による障害者福祉のゆくえ～中央情勢報告と全肢連の取り組み～」という内容でお話をいただきました。

平成21年の政権交代に伴い、障害者自立支援法は廃止の方向が打ち出されています。今後、様々な変わってゆく障害者施策の中、利用者の皆様に最新の情報をお届け出来るよう、たまも荘障害者生活支援センターでは、これからもこのような企画を行ってまいります。

(西井)



さわらび会の 障害者就労支援 〜社会の一員を目指して〜

依然として続く不況の影響で、障害者の方々にとってはますます厳しい雇用環境となっています。しかし、そのような現状にも負けないよう、さわらび会の障害者関係施設では障害者の就労支援に力を入れています。

ジョブコーチ事業

職場適応援助者（ジョブコーチ）とは、障害のある人が一般企業で働くことを実現するため、職場内外の環境を整える専門職のことです。現在さわらび会では、障害者支援施設あかね荘と田原市障害者生活支援センターで行っており、昨年度は十名の方の支援を行いました。

ジョブコーチ支援では、障害者が安心して長期間就労できるように、下記のように様々な支援を行っています。

◇対象者支援

①公共交通機関の利用方法や安全な通勤経路の助言（通勤支援）

②作業理解や作業効率

向上の為の

作業手順書

の作成や各

種助言（作

業支援）

③挨拶や報

告・連絡・相談などに関する助言（社会的マナーの獲得）

◇事業主支援

①本人・障害特性に関する情報の提供、接し方に関する助言

◇家族支援

①対象者の職場での様子や家庭での様子に関して情報交換を行う。

就労移行支援事業

この事業は、企業への就労を希望される方に対し、必要な知識・技能等を習得してもらうための支援や、関係機関と連携し実習・求職活動から就労後の定着までの支援を一貫して行うものです。さわらび会では、障害福祉サービス事業所の明日香が行っています。



その中で、昨年度三月、明日香へ通う浅井幸男さん、高瀬友則さん、田中恒充さんの三名が、(株)ハートフル・マーケット（市内豊栄町）への就職が決まり、四月より元気に通い始めました。

この会社は(株)エイコウの鎌田篤社長が起こされた、障害者が働くことを目的とした就労継続支援A型事業所であり、現在十七名が自動車部品の加工等に取り組んでいます。

三名の皆さんはさわらび会の訓練で得た自分の力を最大限に活かし、社会の一員として頑張ってくれるものと期待します。

このようにさわらび会では、今後も障害者の方々が一人でも多く就職できるように支援していきます。

（山本・中江）



●左から 田中恒充さん、浅井幸男さん、高瀬友則さん

●福祉用具紹介のコーナー



腰を曲げず、楽な姿勢で
ワンタッチ開閉ができます。

背もたれの裏側にあるレバーで、簡単に座面の開閉ができます。そのため、介護者を支えながら片手で腰を曲げずに折じためるので、介助者の負担も軽減できます。



介護保険の申請をされている方は
購入補助があります。
詳細・価格はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

福祉村指定居宅介護支援事業所
☎(0532)463566
さわらび指定居宅介護支援事業所
☎(0532)547377
福祉村病院訪問看護部
☎(0532)467511(代)
福祉サービス株式会社
☎(0532)661011
（福祉村指定居宅介護支援事業所 鳥山）

新しい仲間!

さわらび会新入職員紹介

福祉村病院・ジュゲム



介護士
松井 玲奈

これから高齢者の方々
といろんな事でふれ
あいが持てるように頑
張ります。



介護士
丸山 大貴



介護士
熊谷 奈美



介護士
今井 雅斗



介護士
樺島 裕一郎



介護士
仁科 亜沙美



介護士
松下 彩花



介護士
有吉 美菜



介護士
舘川 歩美



介護士
松井 早紀

みんなに頼られる介護
士になります。



介護士
杉浦 里奈



介護士
村田 絵梨



介護士
松本 典子



調理師
角谷 典架



調理師
花井 成奈

しっかり学んで、仕事
が出来るようにします。



介護士
大嶋 宏晃



保育士
山本 幸輝

世界一の保育士目指し
て頑張ります。

しるがね



理学療法士
鳥居 浩平



介護士
本間 克巳

早く一人前になれるよ
うに頑張ります!

珠藻荘



栄養士
花井 理沙

何事にもプラス思考で
頑張ります。

新しい風!

平成22年度 

さわらび荘



介護士
小椋 啓示



介護士
斧澤 理紗



介護士
松山 昇太郎



介護士
清水 佳那美

利用者さんの気持ちを少しでも分かるように努力します。

人生の先輩を敬える
介護士になりたいです。



介護士
白井 裕哉



介護士
杉田 照人



介護士
豊田 衣里奈



介護士
豊田 苑美



介護士
林 侑那



介護士
河合 苗美



栄養士
木村 公美



介護士
山本ジスライネ



栄養士
坂神 亨一



調理員
安味 良平

あかね荘



支援員
坂上 道明

マイペースで頑張ります!

利用者さんと信頼関係が出来るように頑張ります。



介護士
遠山 瞳



介護士
兼田 依里



介護士
広田 早紀



介護士
水島 志保



介護士
菅沼 靖秋



調理員
平出 智愛



介護士
前田 実穂



介護士
大久保 結香



介護士
中谷 眞宣



介護士
天野 杏花

第三さわらび荘

子ども達の 希望ある未来のために

さわらび会では高齢者や障害者の幸せの実現とともに働く職員そしてその家族の幸せの実現もめざしています。今回の特集ではその中でも特に子育て支援の場面に焦点をあてご紹介させて頂きます。



平成22年度
福祉村保育園
年間行事予定

月	日	行事
4	23	小音楽会
	28	こいのぼり会
5	28	小音楽会
6	25	小音楽会
7	7	七夕会
	13~15	個人懇談会
	30	小音楽会
8	13	夏休みお楽しみ会
	27	小音楽会
9	29	小音楽会
10	6	秋祭りヒと運動会
	22	小音楽会
	29	ハロウィンパーティー
11	10	七五三お祝い会
		野依ハハ神社お参り
	26	小音楽会
12	22	小音楽会
	25	クリスマス会
1	7	凧上げ会
	25~27	個人懇談会
	28	小音楽会
2	3	豆まき会
	25	小音楽会
3	3	ひなまつり会
	25	お別れ遠足
	28	小音楽会
	30	お買い物ごっこ

(偶数月:避難訓練 奇数月:防災訓練)

福祉村保育園は、平成16年5月に開設され、早いもので6年が経ちました。世間では少子化問題が多くとりあげられていますが、さわらび会では、働きながら安心して子どもを産める環境が整っていますので、少子化の声は聞こえてきません。それどころか出生率が年々増加しています。

当初は40名ほどの園児数でしたが、5月現在96名、これから産休を終えて今年度中に復帰してこられる方のお子様を含めると、100名を優に超えます。おそらく愛知県内の施設内保育所の中では、園児数、施設面の充実さ共に、一番ではないかと自負しています。今年度もさわらび会の名に恥じぬように、より知識を深め内容の濃い保育を目指していきたいと思ひます。

保育方針

1. 発達段階に応じた基本的生活習慣、しつけを培う
2. 五感を刺激し、子ども一人一人の可能性を最大限に伸ばし、心身の健全な発達を図る
3. 思いやりのこころを育てる



● こいのぼり製作



● お話会

当園では、とても多くの行事があります。その行事をスムーズに行うためには、日々の生活での活動がとても大切です。子どもたちは、常に保育士を見る習慣をつけていますのでお話がとても上手に聞けます。大きな声で歌をうたい、絵本や紙芝居をたくさん読んでもらいます。お散歩では、五感を働かせ、自然の変化を体中で感じ、製作活動では、指先を上手に使うことを覚えます。また、福祉村内の各施設との交流も盛んに行われています。様々な経験や体験を通して、多くの喜びを感じ創造性を豊かにし、自分なりに表現する力を身につけます。乳幼児期は人間形成の基礎となるととても大切な時期です。私たち大人の関わりが、大きく影響するという事を深く認識し、日々望ましい保育を行うよう職員一丸となって努めてまいります。(竹内)

福祉村
各施設との交流会



- 4月 若菜荘のおじいさん、おばあさん来園「ふれあい会」
- 8月 第2さわらび荘招待「夏祭り」
- 9月 ジュゲム「敬老会」参加
- 10月 福祉村病院と合同「秋祭りと運動会」あかね荘招待「いもほり会」



● 珠藻荘の皆さんとトランポリン



● あかね荘招待・いもほり会



特に子どもたちは、夏休みに多くのことを体験します。高齢者や障がい者の方々が体験する教室活動にも参加します。陶芸教室、絵画、油絵、太極拳、英会話など、施設の教室活動に、利用者の方々と一緒に参加をし、作品を創り、活動することができます。高齢者や障がい者の方々が一生懸命取り組んでいる姿に、多くのことを学んでほしいと願っております。(石黒)

学校の春休み、夏休み、冬休みを利用した学童保育。この子どもたちの歓声が福祉村に響きます。このまとまった貴重な学校の休みの期間を、学年を超えて、遊びを通して思いやり、助け合い、様々なルールを作っていくことを学ぶ機会でもあります。午前中には、場所を変えて、学びの場を設けています。一日がまず自分自身のために、学び、考えることから始めてほしいと願っています。

**子どもたちの
時間を有意義に
— 学童保育 —**

また、教え合うことから多くのことを学ぶことができます。机に向かい、学ぶ時間を大切にしてゆきたいと思っています。



速報

山本左近 F1復帰

HRT F1チームより参戦が決定した左近選手。
どんなマシンでもすぐに乗りこなせる適応力は、チームにとって強力な力になるだろう。

HRT F1チームと契約
サードドライバーとしてF1サー
キットに左近が帰ってくる!!

ファンが待ちに待ったビッ
グニュースが飛び込んできた。

今年からF1参戦をしている
HRT・F1チーム(イスパニア
レーシングF1チーム)のコー
リン・コレス代表から新チームの
強化として、経験豊富な左近選
手に公式テスト&リザーブドラ
イバーでの参加の要請があり、
この度正式に契約が結ばれた。

左近選手は05年のジョーダン・
トヨタからサードドライバーと
してF1デビューを飾り、06年
にはスーパーアグリF1チーム
からレギュラードライバーとし
て参戦。07年にはスパイカーF
1チームからレギュラードライ
バーとしてF1参戦を果たす。
さらに08年にはF1の名門チー
ムであるルノーのテストディベ
ロップメントドライバーを務め、
マシンテストから開発にいたる
まで多岐に渡る活躍をし、チー
ムから高い評価を得ている。

左近選手のこれまでの豊富な
経験と実績、そしてどんなマシ
ンでもすぐに乗りこなせる類い
希な適応力は、HRT・F1チー

ムにとって強力なチーム強化に
なるだろう。

これまでも紹介してきたよ
うに、オフシーズンでもトレー
ニングを続けてきた左近選手
だからこそ、急なオファーでも
確実な仕事を成し遂げること
ができる。

「自分の夢や目標に対して1
00パーセント、自分を信じて、
自分の思いを成し遂げる」そん
な強い思いと夢をあきらめない
大切さを、いつもファンに教え
てくれる左近選手。誰よりもF
1を知っている日本人ドライバー
として、ついにF1サーキット
に戻ってきた!!
(鳥居)

◎衝撃のF1復帰インタビューが ネットで公開中!!

今回紹介できなかった復帰への舞台裏など、
貴重な情報が満載です。是非ご覧ください。

[http://www.f1-stinger.com/f1-news/voice/
2010/04/17/004370.html](http://www.f1-stinger.com/f1-news/voice/2010/04/17/004370.html)(STINGER F1ニュース)

世界最高峰のレースで重ねた数々の実績 山本左近選手、F1の軌跡



2005 JORDAN GRAND PRIX ジョーダンチームからF1デビュー

F1日本GP(鈴鹿サーキット)でジョーダンチームから参戦。サードドライバーを務め、金曜日のフリー走行でレギュラードライバーをはるかに上回るタイムを叩き出した。自身のホームサーキットとも言える鈴鹿サーキットで衝撃のデビューを飾った。

2006 SUPERAGURI F1 TEAM スーパーアグリF1チームから レギュラー参戦

鈴木亜久里氏の率いるスーパーアグリF1チームでサードドライバー参戦。そしてその実力が認められ、ついにドイツGPからはレギュラードライバーとして世界を転戦した。突然のオファーだったが、見事な適応力でレースごとに実力を発揮。最終戦のセクター2ではM・シューマッハに迫る2番手のタイムを叩き出した。



2007 SPYKER FORMULA ONE TEAM スパイカーF1チームから レギュラー参戦

シーズン始めはスーパーアグリF1チームのテストドライバーを務めながら、ヨーロッパのGP2シリーズに参戦するという多忙な日々を送っていたが、スパイカーF1チームから熱烈なオファーがあり、シーズン途中からレギュラードライバーとしてF1参戦を果たす。悪天候で大荒れの日本GPでは、リタイアが続出する難しいレースで見事完走。日本のファンにその勇姿を見せてくれた。



2008 ING Renault F1 TEAM INGルノーF1チームで 多彩な才能を発揮


トップチームのさらなる強化として、INGルノーF1チームでテストディベロップメントドライバーを務める。マシンのテスト、技術者との開発、そして世界各地で開かれたルノーロードショープログラムでのデモランなど、チームに帯同する傍ら様々な活動を精力的に行う。またシーズン途中からはGP2の名門ARTグランプリからのオファーでGP2に参戦するも、ルノーでの活動も同時に務めた。



◎2010 HRT F1 TEAMから電撃参戦

世界最高峰のF1を誰よりも知る日本人ドライバーとして、新たなスタートを切る!!

風千種
春にお披め
世は荒れる




俳句浪漫

直筆の書で
季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



風千種

春にお披め

世は荒れる

春一番、せつかく春になっても気象柄いろんな風が吹く。千変万化の風は「手のひら返し」、「春疾風」、「彼岸荒れ」などとも言う。まるで時代劇のひとつまをも彷彿させる。東京では春一番は例年二月の下旬に吹くことが多いが、小生の生まれ育った上州では「かかあ天下と空つ風」と言って、冬から春にかけては始終殺伐とした強風が吹くので、敢えて春一番と言う感覚は無い。人生いろんな風を経験して、良い風を起すのも楽しからずや。

平成22年度 さわらび大学公開講座開講のお知らせ

☆参加費無料で
どなたでも受講できます

5月のさわらび大学

- 5月13日(木) 「認知症について」
講師 ▶ 福祉村病院副院長 伊莉 弘之
- 5月27日(木) 「薬・サプリメントの飲み方」
講師 ▶ 管理薬剤師 石黒 雅江

6月のさわらび大学

- 6月10日(木) 「高齢者の水分摂取」
講師 ▶ (株)大塚製薬工場
- 6月24日(木) 「接遇とコーチング(仮称)」
講師 ▶ (株)ハーモネット

平成22年度のさわらび大学の開催

時間 ○第2・4木曜日、午後3時～4時
会場 ○福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

講座内容へのご意見、ご要望などございましたら下記までお問合せください。

◎お問い合わせ、受講申込み

軽費老人ホーム若葉荘

☎ (0532)48-1138 FAX (0532)48-2365

いかり先生の
“お遍路さん”
 四国八十八ヶ所霊場めぐり
 第46回
 ●数珠はなんのための
 道具なの？
 福祉村病院副院長 伊莉 弘之

第五十四番延命寺から第五十五番別宮山南光坊までは四キロ、徒歩一時間、車で一五分。駐車場を降りて平らなコンクリートの上を歩く。町の中の新しいお寺というイメージだ。仁王像はピカピカと光って見えた。おだやかな日差しの中を本堂までゆっくり歩いていった。前の寺までいつも出会っていた、あの七、八歳くらいの男の子と二十代後半の夫婦の三人連れの姿はなかった。

南光坊のすぐ隣は別宮大山積神社があり、明治初年までは大山積神社の別当寺を務めていた。この神社の由来は伊予の国主越智玉純が大山積大神を祀った大山祇神社が開基と言われ、もともと瀬戸内海の大三島にあった。しかし海を渡らなると参詣できない不便さから、七二二年に別宮を越智郡日吉村に移した。

境内の隅には越智寛雄(二七一八〜九七)の墓がある。寛雄は高野山の三宝院の住職となった。高野山には全国から供物が集まるが、その中の米殻の中から



品質のよい種子を選んで南光坊に持ち帰り、檀家の農家に配った。やがてこの周辺の農家の稲は品質が良いと評判となり「三宝米」と命名され、越智寛雄は三宝米の祖と尊敬されている。



このところ連続して会っていた三人連れの親子に会えなかったのが少し淋しいと感じながら納経所へ入った。先に二人ほど納経帳に書いてもらっている人たちがいた。私たちの順番になり、住職らしき人が怒りを込めたような鋭い目でじつと私と母親を見てきた。「数珠をとりなさい。数珠は手に持つものだ。」と一言。母と私は首に数珠をかけていた。理由を聞くことなど許さないと住職の顔だ。ふたりとも直ぐに数珠を手を持った。誰も何もしゃべらない。重い空気が流れたまま感謝の言葉を言って納経所を出た。「どうして首に数珠をかけてはいけないの」と中二の娘。「いいのにね」と小四の娘。「数珠はもともとはね、お経や念仏を何回唱えたかを数えるための道具だから、手に持つもの。だから首にかけてはいけなかったね」と母。

四国巡礼に使う数珠は七〇センチほどある長い数珠なので首に掛けて持ち歩くと置き忘れたりしないので、ここまでは手に持たないで首に掛けていたことも多かった。反省である。

Vol. 27
 relay column
さわらび会
のわ

珠藻荘 副施設長
田中 力

よく、三つ子の魂百まで……なんて云います。それはご存知のように「幼いころの性格は、年をとっても変わらない」という意味の諺(ことわざ)です。西洋でも、「The child is father of the man」直訳すると「子どもは大人(人類)の父である」という言葉で、「三つ子の魂百まで」と同じ意味の諺が語り継がれています。

我が家の子供達は今まさに性格を形成する大切な時期です。絵本を読んであげたり、ゆつくりと子供達の話や聞くように心がけたりと毎日の子供中心の生活が続いています。また、親の私自身も子供達に教えられ、親としての成長段階にあると思います。夫婦のあり方や他人へのいたわり、自分を育ててくれた親への感謝の気持ち。特に毎日、家事に追われながらも子供達の面倒を必死に行っている妻への感謝の気持ちを改めて子供達を通して思う今日この頃です。



次回は、ジューゲム理学療法士 西村公彦さんです。

◆福祉村病院・シユゲム
 3月16日 感染対策委員会
 17日 第二病棟家族会
 18日 橋詰先生によるCPC（理事長出席）
 第一・さくら通り病棟家族会

20日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室（大清水地域福祉センター）にて伊弉弘之副院長が「認知症のケアについて」講演
 橋詰教授退職記念祝賀会（名古屋マリオットアンソシアホテル）に理事長出席
 23日 さわらび会合同入社式（ふれあいホール）に理事長出席
 新人研修にて理事長が「老年医学の基礎」について講話
 新人研修にて山本副院長が「新人職員の心構え」について講話
 医療安全委員会
 新人研修にて小橋院長が「感染症について」講話
 倫理委員会
 新人の合同消火訓練（理事長出席）
 新人研修にて副理事長がさわらび会概要説明
 名古屋市緑保健所主催の認知症うつ予防教室（名古屋緑保健所）にて伊弉弘之副院長が「認知症の予防について」講演
 イント福祉村協会理事会総会（理事長出席）
 早蕨編集会議（理事長出席）
 施設長会議（シユゲム）に理事長出席
 長寿研にて本多教授のセミナー（理事長出席）
 シユゲム幹部会
 日総研主催の公開セミナー（田村駒ビル・大阪市）にて伊弉弘之副院長が「認知症ケアマスター」（第2回）について講義
 豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会（大清水地域福祉センター）にて伊弉弘之副院長が助言
 第一・さくら通り病棟家族会

◆さわらび荘
 3月16日 愛老協施設長会議・総会（施設長 名古屋）
 消費生活相談サポーター養成講座セミナー（勝山 カリオンビル）
 さわらび荘家族会総会
 ケアマネ相談窓口（浅見 名古屋）
 愛介連ケアマネ部会（白井秀 名古屋）
 GH協役員会（村田・白井有 名古屋）
 地域包括支援センター業務打ち合わせ会（松下・勝山 市役所）
 賀茂老人クラブ総会（賀茂小学校 白井秀）
 ケアセンター運営推進会議（勝山 豊橋ケアセンター）
 社会福祉士職種別ケア会議（勝山 尽誠苑）
 食介護とリハビリテーション講演会（杉本・富岡 豊橋商工会議所）
 主任介護支援専門員職種別ケア会議（白井秀 つつじが丘地域福祉センター）
 社会福祉士職種別ケア会議（勝山 つつじが丘地域福祉センター）

◆第二さわらび荘・カサデローザ
 3月16日 愛老協施設長会議・総会（山本施設長 名古屋）
 認定審査会（長坂 市役所）
 全老協理事會・正副会長委員
 長会議（山本施設長 東京）
 全老協協総会（山本施設長 東京）
 家族会役員会
 県社協理事會、県共済会理事會
 （山本施設長 名古屋）
 市高齢者福祉介護保険事業者等連絡会運営委員会（山本施設長 市役所）
 食介護とリハビリテーション講演会（鈴木あ・小木曾 豊橋商工会議所）
 全老協協正副会長委員長会議（山本施設長 東京）

◆珠藻荘
 3月18日 自治会
 相談支援事業所連絡会（施設長・松井伸 さくらびア）
 25日 豊橋市障害者自立支援協議会（施設長 豊橋市職員会館）
 「地域移行支援者」養成研修会（佐藤・芝原・鳥居 名古屋）
 屋内消火栓操作訓練
 宝陵高校春休みボランティア受け入れ2名（2名）
 自治会役員会
 食介護とリハビリテーション講演会（花井 豊橋商工会議所）
 自治会

◆若菜荘
 3月16日 愛老協施設長会議・総会（施設長 名古屋）
 居酒屋
 若菜会定期総会
 誕生会
 喫茶なかよし
 イント福祉村協会理事會（施設長 シユゲム）
 各階別会議
 若菜会地域活動日
 仏具磨き
 食生活会議
 花祭り
 全国軽費老人ホーム協議会・役員会（施設長 神戸）
 若菜会役員会
 愛老協役員会（施設長 名古屋）
 懇談会

◆明日香
 3月18日 ケース会議
 19日 回診日
 20日 田原 パオにて販売（20日）
 22日 家族会
 23日 木藤會計監査
 ボランティア運営委員会（施設長 あいつア）
 ヘルパー会議
 職員勉強会
 施設内棚卸し
 回診日
 31日 春の健康診断（9日）
 4月2日 甘夏ミカン収穫開始
 5日 木藤會計監査
 6日 工賃支給日
 7日 自治会
 9日 イエローシート交換会（シヤスコ豊橋南店）
 11日 就労継続支援B型事業・就労移行支援事業面談（19日）
 12日 デンソー販売
 14日 ケース会議
 15日

◆しろがね
 3月23日 宝陵高校体験学習習入（2名）
 25日 春期学童保育開始
 29日 TFM合唱団来荘
 4月2日 家族懇談会
 6日 食介護とリハビリテーション講演会（鳥居・岡田 豊橋商工会議所）
 8日 さなえ会おやつ奉仕
 12日 TFM合唱団来荘

◆あかね荘
 3月16日 ケア検討会議
 17日 支援会議
 18日 誕生日会
 20日 来診日
 25日 家族会総会
 夜間想定避難訓練
 伊勢路招待
 事務所引越（4日）
 経営会議
 4月3日 ケアホーム会議
 8日

◆各施設共通
 3月23日 さわらび会入社式
 4月2日 施設長会議
 共同防災会議
 6日 障害者担当会議
 8日 栄養士会議
 さわらび大学
 13日 福祉村クリーニング運動

さわらび会後援会寄附で芳名

平成22年3月15日～4月14日

	宇都宮かず江氏	1,000,000円
蒲都市丸山町7-13	鈴木保行氏	10,000円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモクランド	10,000円
新城市南畑 74	光田屋(株)	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷(株)	5,000円
市内東雲町47	梅村敏夫氏	16,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内萱町30	(株)中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内間屋町15-5	(株)スズケン	10,000円
市内東新町314	(株)日医工新和	10,000円
市内東田町154	(資)竹田商店	10,000円
市内東鵬三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス(株)	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海(株)	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
	匿名希望氏	50,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	20,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
計 **1,295,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
832,567,578円

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人

さわらび会後援会からの
お願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営していくよう支援しております。

皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

後援会会長 神野信郎

●お問い合わせは 珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

＊お礼コーナー ありがとうございます＊

※印は豊橋善意銀行を通して

▼伊勢路様 昼食招待※(あかね荘)

▼長坂稔様 ねぎ寄贈※(明日香・あかね荘・若葉荘・珠藻荘)

▼宮野豊彦様 いちご寄贈※(さわらび荘・第二さわらび荘・明日香・若葉荘・珠藻荘・あかね荘・しろがね)

インド福祉村協会寄附で芳名

平成22年3月11日～4月10日

静岡県浜松市浜北区中瀬2490-2	大杉あい氏	1,000円
静岡県浜松市浜北区内野2717-2	岩間安代氏	1,000円
名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	3,200円
大阪府岸和田市宮本町28-22	薬師院 阿字観教室	10,000円
名古屋市北区大曾根3-16-37	柴田昌雄氏	2,000,000円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	10,000円
小牧市藤島一丁目168	堀 春男氏	1,000円
北名古屋市六ツ師字道毛43-2	下島俊光氏	1,000円
兵庫県丹波市柏原町柏原263	廣崎秀行氏	14,333円
市内下地町橋口44-1	鈴木令子氏	5,000円
豊川市萩山町3-74	竹本君代氏	5,000円
静岡県浜松市東区有玉台四丁目168	田中久子氏	5,000円
市内八町通1-17	森 澄氏	5,000円
あま市東溝口2-92	秋野 智氏	5,000円
大阪府岸和田市小松里町947-7	小野剛賢氏	3,000円
市内八町通1-17	森みのり氏	5,000円
市内浪ノ上町7番地の1	山本ゆかり氏	5,000円
	匿名希望氏	10,000円

計 **2,089,533円**

募金方法(インド福祉村)

■振込先 郵便局 ゆうちよ銀行・振替口座

口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会

■連絡先 軽費老人ホーム若葉荘 ☎0532-48-1138まで

インド福祉村協会だより

インド福祉村協会(理事長 山本孝之)では、JICAとのプロジェクトにより衛生教育に取り組んでいます。現地の報告が届きましたのでご紹介します。

インドにおける衛生教育指導

現地プロジェクトマネージャー 加藤 伸也

1年間の内、約6ヶ月弱、衛生教育のためにインドに滞在しました。

インドの特に「村」の生活・衛生環境は、日本の何年前に想定できるのか、恐らく50年から60年前と思われる。デリーの大都市でも衛生環境は決していいとはいえません。ましてや、「村」では想像を超えるところです。

インドでは「遅れている」、「汚い」、「暗い」等と見るよりは、何十年前の日本を再現していると認識しているのが現状です。表現が正しいかどうかは別にして、歴史上の「後進国 日本」の鏡として捉えています。決して「先進国 日本」の眼で見たいいけないと強く感じています。

このインドも何十年後には素晴らしい国になるでしょう。その一助に携われたことに感謝しています。「教育」だけでは克服することは困難ですが、「衛生」を考えると総合的な取り組みが必要であろうと思います。

どちらにしても、インドに見合った推進をインド人自身が進められるようこれからも援助・助言が必要です。「草の根」から「心の根」に変化できれば言うべき言葉はありません。

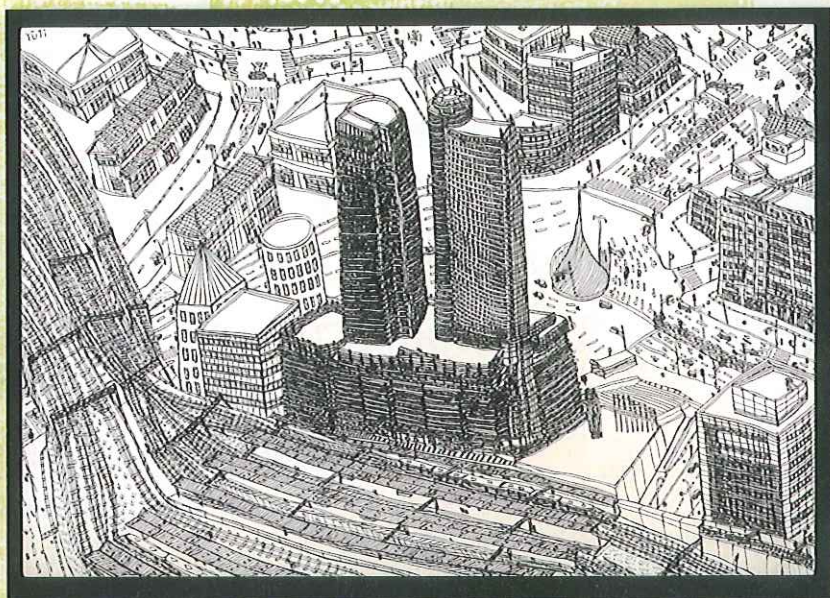
「こいのぼり」
平木場 郁央
(明日香利用者)



さわらび会利用者の
作品展

「心でのぞいた僕の町」
辻 勇二
(明日香利用者)

辻勇二さんの作品は現在、アール・ブリュット・ジャポネ展(フランス)にて展示中です。インターネット(<http://www.art-brut.jp/>)でもご覧いただけます。



編集後記

この春、さわらび会には医療法人十八名、社会福祉法人二十八名、合計四十六名の新人職員が入社し、今月号のさわらび誌に写真入りで紹介させて頂きました。彼らの写真、コメントからもこれから介護士として、栄養士などとしてがんばってゆこうというフレッシュな気持ち伝わってきます。私達ベテラン職員も仕事をマンネリ化せず、彼らに負けないように初心を忘れず、フレッシュな気持ちを持ち続けなければいけないと痛感させられます。

彼らもこれから様々な体験を通して、一人前の職員へと成長してゆくことでしょう。そして、このさわらび誌に自分自身の誇れる活動、実践として自信を持って原稿を書いてくれる日が楽しみです。一日でも早くそんな日が来るよう私達は彼らをしっかりと見守ってゆきます。

(江川)

【表紙写真「未来ははたけ」(平木場郁央)

充実した医療と福祉
みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人 さわらび会 理事長 山本 孝之

- 特別養護老人ホーム さわらび荘
☎(0532) 54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ
☎(0532) 37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘
☎(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
☎(0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
☎(0532) 48-2825
- 福祉村病院
☎(0532) 46-7511
- グループホーム白珠
☎(0532) 66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香
☎(0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
☎(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町)
☎(0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生
☎(0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
☎(0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎(0532) 46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託)
☎(0531) 45-3828

さわらび

2010年5月1日発行 早蕨 第445号 毎月1日発行
(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
編集責任者・江川和郎 印刷・共和印刷(株) 定価・100円